



ゼロからのDX推進のお手伝い！

現在、企業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）は極めて重要なテーマとなっています。今回は、令和5年度、デジタルシティ松本推進認定企業選考において三つ星認定を受けた、株式会社テレビ松本ケーブルビジョン様にDX推進の取り組みをお聞きました。

1. 最近取り組まれているDXはどのようなことがあるか教えてください。

佐藤会長 太陽光パネルの設置です。市内の企業さんが担当し工事を行います。社内電力の一部を賄う計画です。5%ほどを賄う予定です。太陽光パネルとDXの組み合わせは以外ですが、この取り組みは、エネルギーの効率的な利用や環境への配慮を目指すものであり、社内電力の一部を賄うことで、DXを進める上で根本となる電力確保を行うことで持続可能な運営を目指しています。

2. その他にも取り組まれていることはありますか。

佐藤会長 玄関に太陽光発電状況を表示するデジタルサイネージがあり、社員の電力に対する認識強化を図っています。また、社員動向を掲示するデジタルサイネージも設置しています。サイネージを見ると瞬時に動向が分かり緊急時の指示が迅速に行えるようにしています。

3. ソフト的な面のDXは如何でしょうか。

佐藤会長 ペーパーレス化も進んでおり、放送用記事やお客様からの申込書、工事業者さんとのやり取りも全て電子化されています。勿論、お客様の環境もありますので紙ベースのやり取りも並行しています。ライブ映像配信では槍ヶ岳の映像を配信しています。

堀金課長補佐 全社員にタブレットを配布し、業務をデジタル化しています。契約書や工事指示書などもすべて電子化しており、ペーパーレス化がほぼ完了しています。槍ヶ岳に4Kカメラを設置し、ライブ映像を本社で電波受信しています。地域情報発信のデジタル化として松本駅、イオンモール、松本歯科大学に光ケーブルを引き、各箇所の情報と共に槍ヶ岳ライブ映像を配信しています。

4. DXの取り組みはいつごろから取り組まれたのでしょうか。

佐藤会長 DXは、弊社の業務を考えた場合、10年程前から取り組んでいます。業務の効率化や情報共有を促進することで、企業の強化に繋がる重要な取り組みです。タブレットの配布や文書の電子化は、業務のスピードアップや誤りの軽減につながります。槍ヶ岳の映像は冬場、零下30度以下になる環境で機材が凍り電力発電も覚束ない中での映像配信になり世界で初めてになります。これをコンテンツとして設置箇所の情報と共にデジタルサイネージで配信しており、地域の情報発信の強化につながっています。



5. デジタルシティ松本推進認定企業三ツ星の認定を受けていらっしゃいますが、その中で今後の方向はどのようなことがありますか。

佐藤会長 デジタルシティ松本の推進に関わることに、弊社は光ケーブルを松本平全域に張ってあります。この光ケーブルを有効活用していただくことでデジタルシティ松本へ貢献できればと思います。

堀金課長補佐 デジタルシティ松本推進機構（DigiMAT）に加入しています。この機構の目的であります、

- 残すべき歴史・自然・芸術・文化を次世代に伝承する。
- 松本市民が愛する松本の魅力を“松本ファン”に分かりやすく発信する。
- 地元企業の新事業を後押しする。

この目標をバーチャル空間活用して行おうとしたとき、会長が先に述べた光ケーブルをインフラとし、弊社が自主放送1チャンネルで取材し所蔵している映像をコンテンツとして有効活用することになります。

6. 光ケーブルのインフラ、膨大なコンテンツをお持ちの御社が今後、松本の中小企業のDXを推進させる上で取り組まれようとしていることはありますか。

佐藤会長 地域のDX推進において、弊社以外にも支援されている事業所さんは多くありますが、地域の商店街や親父さん・母ちゃんて営んでいる個人経営者の方々のお手伝いをして、DX推進に向けて努めていきます。「ゼロからDX推進のお手伝い！」として新部署を4月から立ち上げます。新部署の社員は国内のケーブルテレビネットワークの中で最新のDX推進ノウハウを持っている、砺波地域の（本社：南砺市）、となみ衛星通信テレビの子会社で勉強をし、技術や人的繋がりを得ています。

横山係長 となみ衛星通信テレビの子会社でティエスティテクノという地域DXに力を入れている会社があります。そこに研修に行かせていただきました。ケーブルテレビの子会社なので、ケーブルテレビの光ケーブルやインフラを地域の人にご利用していただくところからスタートしたのですが、実際は富山県全体を営業エリアとし、県の補助金やプロポーザルで資金をいただいて、行政が抱えていること地域が抱えている困りごとに対して、お手伝いしていくようなことをやっていらっしゃいました。今一番力入れてらっしゃるのが、マイナンバーカードの関係です。多くの事業所さんが抱えている人手不足、新規採用難は今まで案内パンフレット、ホームページによる案内が主でしたが、これでは社内雰囲気などを伝えることが難しかったのですが、VTRや仮想空間で案内することで今まで伝えられなかったことを求職者に伝えるなど、ほんの一例ですが、DXっていうとなんか難しいシステムを入れなきゃいけないっていうイメージがあるのですが、地道に小さいところから付き合いさせていただき少しでも紙から変えていこうとするところの、ゼロからのお手伝いをできるよう目指して行きます。

7. DX 先進企業として地域のDXを進めようとしている事業所さんに何かアドバイスがあればお聞きしたいです。

佐藤会長 弊社では4月から新規事業ということで出発して、一緒になって地元のDX推進をゼロからご相談に乗って行き、弊社だけでは出来ない部分はメーカーさん、ベンダーさんなど他の方のフォローを受けながらDX推進の新事業を進めて参ります。弊社は映像に関するノウハウを蓄積してきました。横山が先に述べたような求人情報の発信方法も本格的なデジタル化が必要であるように、国が以前から人手不足を問題視していましたが、その実態が我々の生活にも明確に見えてきました。地域全体を見たときに取り組みの遅れを感じるころはありますが、今からでもDXに取り組んでいただくことが人手不足の対策に繋がると思います。



株式会社テレビ松本ケーブルビジョン

所在地：松本市里山辺3044-1

代表者：代表取締役会長 佐藤 浩市（常勤）

代表取締役社長 須崎 修（常勤）

事業内容：・有線テレビジョン放送業務・インターネット・IP電話通信事業・ケーブルプラス電話事業・有線FMラジオ放送事業・放送番組の制作、販売・チャンネルのリース・広告取扱い業

取り組み：SDGsへの取り組み



2023年10月2日 松本市長より デジタルシティ松本推進認定企業三ツ星の認定

【DX推進に関するお問い合わせ】 松本商工会議所DX推進部 TEL：0263-32-5350 Mail：mccidx@mcci.or.jp